

■「美」を追い求めた学生達の4年間の集大成を発表■  
化粧ファッション学科「卒業制作展」「卒業論文発表会」を実施

- ◆制作展:1月24日(金)~31日(金) 10:00~16:00 記念館2階
- ◆論文発表会:1月30日(木)~2月1日(土) 円形ホール

大阪樟蔭女子大学 学芸学部・化粧ファッション学科は、1月24日(金)~31日(金)に、本学の記念館にて「卒業制作展」を行います。さらに1月30日(木)~2月1日(土)に円形ホールにて「卒業論文発表会」を行います。

### 本件のポイント

- 日本で唯一ファッション、化粧、美容をトータルで学べる化粧ファッション学科で、4年間の成果発表
- よそおいをアカデミックに追求した108人の研究論文と作品が一同に集結
- 「化粧ファッション」を切り口に、アンダーウェア、アイドル、男性メイクなどの様々な話題のテーマも考察

本学の化粧ファッション学科は、「ファッション学専攻」「化粧学専攻(化粧文化コース/美容コース)」から構成されています。本学科では、服飾・化粧・美容の3領域をトータルで学べることを強みに、よそおいに関する幅広い専門的知識や技能、豊かな感性を養い、化粧ファッション関連産業で活躍し得る人材の育成を目的としています。

「卒業制作展」では、学生が制作したドレスをはじめ、ヘアやメイク、ネイルのディスプレイ、写真集、研究論文のパネルなど115点が一同に並びます。つづく「卒業論文発表会」では、制作展で展示した自身の研究や作品の成果のプレゼンテーションが行われます。学生たちは、個性的な各研究室の指導の下、心理学、美学、デザイン、色彩、環境問題、男性メイクやLGBT問題など、様々な研究成果を発表します。

### ■今回の見どころ pick up

アルフォンス・ミュシャの生涯をテーマとしたティアラデザイン、フィンガーウエーブを使ったヘアスタイル、特殊メイクとエビテーゼ、マスクの色が相手に与える印象、映画「The Greatest Showman」から考えるLGBTQ当事者との共生、男性の理容室離れについて-男性美容市場と美意識からの検討-、ファストファッションのビジネス展開、19世紀末から20世紀初頭の女性下着に関する考察-ファンデーションの移り変わりに着目して-、男性の化粧の変移- SNS から考える-、デコラティブな衣服造形、デニムで魅せるドレス、マイクロプラスチックビーズに代わる環境に配慮した天然系球状粉体の開発、パンティストッキングの色彩透過性に関する研究など。

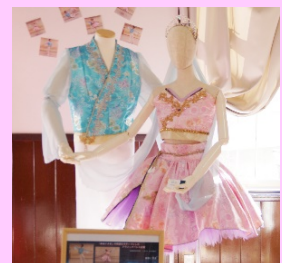
つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

### ■卒業制作展

- ◆会期:1月24日(金)~31日(金) 10:00~16:00
- ◆会場:大阪樟蔭女子大学 記念館2階(東大阪市菱屋西4-2-26)

### ■卒業論文発表会

- ◆会期:1月30日(木)~2月1日(土)
- ◆会場:大阪樟蔭女子大学 円形ホール



### <本リリースに関するお問合せ先>

学校法人樟蔭学園 学園広報課(担当:梶田・井上)

TEL:06-6723-8152(直通) FAX:06-6723-8263 E-mail: [gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp](mailto:gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp)